

平成19年4月 特別展示 展示物一覧

1. 染井王子巢鴨辺絵図

図の左上については錦絵的手法に描かれるなど、一枚の図でありながら位置によって遠近が大きく異なる。

(現在は..) 豊島区巢鴨～北区西ヶ原、王子～板橋区の一帯
JR 巢鴨駅、とげぬき地蔵などがあります。



2. 牛込市ヶ谷大久保絵図

図の右上が高田馬場。堀部武庸(通称:安兵衛)の「高田馬場の決闘」などは時代劇にも描かれ有名。

(現在は..) 新宿区西部地域
早稲田大、東京女子医大などがあります。



3. 市ヶ谷牛込絵図

図の左下が神楽坂。地名の由来は不明。(神輿が重くてこの坂を上ることができなかったが、神楽を奏すると、容易に上ることが出来たから等の諸説がある。)

(現在は..) 新宿区市ヶ谷、牛込、神楽坂の一帯
東京女子医大などがあります。



4. 礪川牛込小日向絵図

図の上部が一部市ヶ谷牛込絵図と重なる。

(現在は..) 新宿区神楽坂～文京区小日向、音羽の一帯
図右下の「水戸殿」と記載があるのは現在の小石川後樂園(都立公園)で、水戸徳川家ゆかりの回遊式泉水庭園です。そのほかJR 飯田橋駅などがあります。



5. 東都番町大絵図

武家屋敷が集中する屋敷町。きれいに区画が整備されている。

(現在は..) 千代田区飯田橋、九段北から麹町の一帯
JR 四ツ谷・市ヶ谷・飯田橋の各駅、靖国神社、上智大、法政大、二松学舎大、大妻女子大、日本歯科大などがあります。



6. 飯田町駿河台小川町絵図

屋敷町。講武所などの幕府施設や大名屋敷が多い。

「駿河台」の地名の由来は駿府から江戸に移住した徳川 家康の家臣が居を構えたから等の諸説がある。

(現在は..) 千代田区九段下からお茶の水までの一帯
JR 飯田橋・水道橋・お茶の水の各駅、ニコライ堂、明治大、専修大、共立女子大などがあります。



7. 東都下谷絵図

明暦の大火後、江戸の都市改造が行われ、延焼を遮断する防火線として広小路が造成された。下谷（上野）広小路は江戸屈指の繁華街として成長した。

（現在は..）台東区下谷～千代田区神田相生町の一帯
JR上野・御徒町・秋葉原の各駅、上野公園、
国立博物館などがあります。



8. 東都浅草絵図

図の左中央やや下が柳橋。船遊びの拠点としても人気があり、現在も船宿が残る。江戸末期には花街として発展した。

図の右下に雷門が描かれている。1865年に火災に遭い、再建されたのは100年近い後の1960年。

（現在は..）台東区浅草橋、蔵前、柳橋の一帯
JR浅草橋駅などがあります。



9. 千駄ヶ谷鮫ヶ橋四ッ谷絵図

四ッ谷御門付近が現在のJR四ッ谷駅。御門前の四ッ谷見附が起点となり真下に伸びるのが甲州道。

（現在は..）新宿区本塩、四ッ谷一丁目～新宿三丁目～渋谷区千駄ヶ谷の一帯
JR四ッ谷・信濃町・千駄ヶ谷の各駅、神宮外苑、
国立競技場、東京体育館などがあります。



10. 東都青山絵図

図の中央を左右に走る道筋は大山道（現 青山通り）であり、中央付近にある善光寺前付近が表山道。

（現在は..）新宿区霞岳町～渋谷区神宮前、広尾ほか～港区南青山、北青山、西麻布の一帯
JR渋谷駅などがあります。



11. 今井谷市兵衛赤坂全図

（現在は..）港区元赤坂、赤坂、六本木、麻布台、虎ノ門の一帯
図の下部中央からやや左に位置する「松平出羽守」と記載の場所に、平成19年3月、東京ミッドタウンがオープンしています。そのほかTBSテレビ、サントリーホール、米、加の各大使館などがあります。



12. 東都麻布絵図

（現在は..）港区麻布十番、南麻布、元麻布、六本木ほか～渋谷区広尾の一帯

図の左側中央からやや下に位置する「堀田相模守」と記載の場所に、平成15年、六本木ヒルズがオープンしています。そのほかテレビ朝日、独、中、韓、仏の各大使館などがあります。

